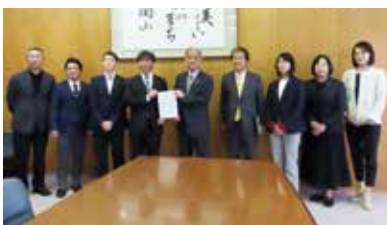


# 議会トピックス

## こどもまんなか社会の実現に向けた 予算編成に対する提言書を提出

国のこども大綱では、全てのこどもが心身ともに幸福に暮らせる「こどもまんなか社会」の実現を目指す基本方針が示され、さまざまな取り組みが進められています。

こども未来創造調査特別委員会では、こどもや子育て、若者に関する取り組みについて精力的に



調査を行い、令和6年11月26日に令和7年度の当初予算の編成に対する提言書を市長に提出しました。

## 岡山市民の終活を支援するための 条例（仮称）案を市長に提出

住み慣れた地域で安心して生涯を通じ自分らしくより充実した日々を送り、自らの望む人生を全うできるように終活を支援することは、国や地方自治体を挙げての大きな課題です。

岡山市議会では、市民が取り組む終活を支援し、終活支援に係る施策を推進するための条例の制定



に向け、議員によるプロジェクトチームにて検討を進め、令和6年12月12日に条例案を市長に提出しました。

## 高校生未来創造議会を開催しました

「こどもまんなか社会」の実現に向け、令和6年12月18日に本会議場で、児童の権利に関する条約やこども基本法において規定される意見表明の機会の一環として、高校生未来創造議会を試行しました。



岡山後楽館高等学校の2、3年生21名が6グループに分かれて、本会議と同じ形式で質問を行いました。高校生からは「外国人観光客が路面電車を利用しやすくなる対策は」、「西川緑道公園と下石井公園の魅力の発信について」といった質問があり、市長、局長からは、「訪れた方の満足度が高い利用環境をつくっていきたい」、「ロケ誘致を進めるなど市の魅力を発信していきたい」などの答弁がありました。

参加した生徒からは、この経験を生かしてこれからも岡山市を盛り上げていきたいなどの意見がありました。

## 自分らしい暮らしを 人生の最期まで送るために



まつやま まさはる  
松山 正春 氏

岡山大学医学部卒業。  
岡山大学医学部第一外科、  
広島県庄原赤十字病院外科を  
経て松山胃腸科外科を開設。  
平成30年6月から現職。

令和6年12月13日に本会議場で市議会議員研修会を開催しました。公益社団法人岡山県医師会の松山正春会長を招き、「岡山県医師会の地域包括ケアの取り組み～移動会長室事業を中心に～」と題した講演を聴講しました。

講演では、県民の生活を守り、医師の医療活動を守ることが医師会の役割と示され、災害対応や地域包括ケア、医師を対象とした研修会の実施など、医師会のさまざまな活動内容について学びました。

特に、会長自らが地域に出向き地域住民の生の声を聴く「移動会長室事業」に力を入れて取り組んでおり、ACP・人生会議普及啓発活動を中学生・高校生等の若者にも啓発を行うことが必要と講演されました。



※ACPとは…自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する取り組み

